

平成22年度当初予算の要求状況について

平成22年度当初予算の要求状況について、下記のとおりとりまとめましたので、お知らせいたします。

1. 平成22年度一般会計当初予算要求総額

4, 737億円

(21年度当初予算比 +117億円、+2.5%)

今後、県税収入や地方交付税の見積もり、国の予算案の状況も踏まえつつ、「行財政運営の基本方針2010」に掲げた政策課題の実現に向けて予算編成作業を進めてまいります。

○主な歳出増加要素

- ・高齢化等に伴う介護給付費・医療関係経費の増加
- ・医療提供体制の充実、医療関連人材の確保
- ・雇用対策の推進
- ・高等学校等就学支援金
- ・社会福祉施設、医療施設の耐震化
- ・老人福祉施設の整備、介護基盤の緊急整備

○収支不足見込額 約205億円

(21年度当初予算対比 +59億円)

資料① 平成22年度当初予算要求の状況（イメージ図）

資料② 平成22年度当初予算要求の状況

資料③ 平成22年度財政収支見通し（予算要求段階）

2. 部局別予算要求状況（主な事業）

資料④ 「部局別予算要求状況（主な事業）」のとおり